

総合戦略 効果検証シート

【資料1-1】

基本目標 (Plan)	1 はつかいちの「産業」はニュースにあふれている！！ ～そこ！に着目するはつかいち～						
KGI	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
市内総生産額	3,539億円 (H29)	3,766億円 (R1)				4,000億円	○

【KGI・KPIの進捗状況凡例】 ◎:目標値達成 ○:現状値(R1)から改善 △:現状値(R1)と同数又は後退 【施策の評価凡例】 KPIの平均点が 達成:4点以上 やや達成:2点以上4点未満 要改善:2点未満 (KPIの進捗状況 ◎:5点 ○:3点 △:1点)
--

施策体系			施策達成度							
施策1	コレできる！新しい仕事のカタチ発掘		要改善	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	創業支援等事業計画を活用した市内創業者数			101人	69人				110人	△
施策2	お宝ザクザクはつかいち		やや達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①JA産直市場の売り上げ高			1億9,000万円	2億9,000万円				2億2,000万円 (R3)	◎
	②認定農業者数・認定新規農業者数			32者	32者				47者	△
	③認定農業者の内スマート農業に取り組む者			-	3者				10者	-
	④漁業生産額			30億円 (H28)	30億円 (R2)				30億円	◎
	⑤観光消費額			287億円	127億円				310億円	△
	⑥観光客一人当たりの消費額(観光消費額/観光客数)			3,627円	3,869円				4,000円	○
	⑦事業継続強化計画の認定を受けた市内事業者数(累計)			6社	58社				50社	◎
	⑧産業経済団体、産業支援機関等を活用したビジネスマッチングへの参加事業者数			87社	43社				100社	△
	⑨地元の食材を提供するホテル旅館及び飲食店数			-	-				10件	-
	⑩市内の農水産物を購入している市民の割合			31.8%	31.2%				37.0%	△
	⑪産業支援機関等を活用した事業承継成立件数			0件	1件				5件	○
	⑫産業支援機関等が開催するビジネスフェアへの参加企業数			17社	3社				35社	△

施策3	新たな「人・モノ・コト」を開拓する	要改善	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	法人市民税の申告件数		2,615件	2,572件				2,615件	△

総合分析 (Check)	KGIの実績値(R1)は3,766億円であり、現状値(H29) 3,539億円に対して227億円増加している。 実績値は2年のタイムラグがあるため、令和3年度現在での施策達成状況を踏まえた分析が困難であるが、目標達成にはあと234億円増加させる必要がある。 KGIの目標達成に向けては、創業者や認定農業者の確保、事業承継、観光ブランド力の向上などが必要不可欠であり、施策1及び2の②③⑤のKPIを伸ばす必要があると考えている。								
今後の対応 (Action)	ステージに応じたきめ細やかな創業者支援、スマート農業の取組支援や観光DXの推進といったデジタル技術を活用した取組みを推進することで、KGI目標値達成を目指す。								

推進会議の意見	
・「創業者や認定農業者の確保、事業承継、観光ブランド力の向上などが必要不可欠」の記載について根拠はあるか。 ・ステージに応じたきめ細やかな創業者支援とあるが、ステージとはどの段階のことか。また、どういった支援をされる予定か。 ・市内総生産額は向上しており、観光消費だけではない他の要因によって経済が回っていたことも考えられる。進捗状況の悪かったところへの議論も必要であるが、他にどういった理由で市内総生産額が伸びたかを分析しながら、そこに力を入れていく必要も感じている。	

総合戦略 効果検証シート

【資料1-1】

基本目標 (Plan)	2 住みたくなる！ちょういどいいまち ～そこ！そこ！！のはつかいち～意外と知らない、魅力いっぱい のまち						
KGI	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
人口の社会動態	転入超過 (213人)	転入超過 (174人)				転入超過	◎

【KGI・KPIの進捗状況凡例】

◎: 目標値達成
○: 現状値(R1)から改善
△: 現状値(R1)と同数又は後退

【施策の評価凡例】

KPIの平均点が
達成: 4点以上 やや達成: 2点以上4点未満 要改善: 2点未満
(KPIの進捗状況 ◎: 5点 ○: 3点 △: 1点)

施策体系		施策達成度							
施策1	ウェルカムはつかいち ～暮らしを楽しむ魅力いっぱい のまち～	要改善	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①市の取組を知り、廿日市市に暮らすことに興味・関心がわいた20 歳代～40歳代の割合		46.8%	46.0%				60.0%	△
	②20歳代～40歳代の転入者数		2, 864人	2, 475人				2, 900人	△
施策2	はつかいち再発見	要改善	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	現在の地域に住み続けたいと思う市民の割合		79.3%	78.0%				80.0%	△
総合分析 (Check)	KGIの令和3年度実績値は転入超過のため、進捗状況は「◎」となっている。 なお、本市は平成27年から7年連続で転入超過となっている一方で、中山間地域においては人口が減少している現状である。 施策達成度は施策1、2どちらも「要改善」であり、今後も社会人口動態の転入超過を維持するため、事業実施の改善が必要である。 注力する必要があるKPIは、施策1の①、施策2であると考えている。 施策1については、廿日市市への興味・関心を持つ→「交流人口」「関係人口」となる→移住する というストーリーに繋げるため、 最初の興味・関心を持たすことが重要である。 興味・関心を持たせる取組みとして、市のPR動画を発信しているが、アンケートによると動画への満足度は一定程度あるものの、認知度が低いことが課題である。 施策2については、SNSによる地域の魅力発信や地域学習の支援をしており、今後のKPIの押し上げを期待している。								
今後の対応 (Action)	コロナ禍で全国的に自然志向が高まっていることから、自然あふれる中山間地域における空き家を活用した取組の推進や、佐伯総合スポーツ公園の改修工事・イベント等、本市の更なる魅力向上を継 続的に発信し、 更なるファンの獲得、興味・関心の深度を上げることで、最終的なゴールである「移住」に繋げる。 愛着心を育む事業の内容をブラッシュアップや、オウンドメディアの拡大によって、「定住」の促進に繋げる。								

推進会議の意見

- ・中山間地域での取り組みが転入超過に繋がり、それをさらに推進していくのか。
- ・廿日市市沿岸部で大規模な開発を実施されているが、広島市でも大規模開発が進められており、そこへ人が出て行かないよう考えながら実施してもらいたい。
- ・創業したい外国人による土地や空き家の需要があり、その中で中山間地域への需要も一定数あるのではないかと感じている。
- ・転入のターゲットは、近隣市町か全国なのか。また、全国的な取組みであれば事例を教えて欲しい。

総合戦略 効果検証シート

【資料1-1】

基本目標 (Plan)	3 子育て世代に選ばれ続ける「そこ！」が大事 子どもたち、みんな“はつかいちの子” ～みんなで子育て～						
KGI	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
合計特殊出生率	1.41 (H30年度確定値)	1.38 (R元年度確定値)				1.44	△
0～14歳の社会動態	転入超過 (203人)	転入超過 (255人)				転入超過	◎
将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	(小学校)85.9% (中学校)76.4%	(小学校)80.6% (中学校)69.7%				(小学校)89.0% (中学校)78.0%	(小学校)△ (中学校)△

【KGI・KPIの進捗状況凡例】 ◎: 目標値達成 ○: 現状値(R1)から改善 △: 現状値(R1)と同数又は後退 【施策の評価凡例】 KPIの平均点が 達成: 4点以上 やや達成: 2点以上4点未満 要改善: 2点未満 (KPIの進捗状況 ◎: 5点 ○: 3点 △: 1点)

施策体系		施策達成度							
施策1	子育てが楽しくなるまちづくり	達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①この地域で子育てをしていきたい人の割合		98.1%	98.4%				99.0%	○
	②ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者の割合		81.6%	84.1%				83.0%	◎
施策2	まち全体で子どもを育てる	要改善	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①コミュニティ・スクールの導入校数		0校	3校				27校	○
	②ICTを活用した授業を実施している教師の割合		(小学校)72.0% (中学校)67.4%	(小学校)66.1% (中学校)67.0%				(小学校)100% (中学校)100%	(小学校)△ (中学校)△
	③外国人と積極的にコミュニケーションを図りたいと思う児童・生徒の割合		(小学校)81.9% (中学校)49.9%	(小学校)68.8% (中学校)50.3%				(小学校)85.0% (中学校)60.0%	(小学校)△ (中学校)○
	④朝食を毎日食べる児童・生徒の割合		(小学校)96.0% (中学校)94.3%	(小学校)95.4% (中学校)92.2%				(小学校)100% (中学校)100%	(小学校)△ (中学校)△
	⑤自分の良さは周りから認められていると回答した児童・生徒の割合		(小学校)74.6% (中学校)72.2%	(小学校)76.3% (中学校)70.7%				(小学校)75.0% (中学校)75.0%	(小学校)◎ (中学校)△

総合分析 (Check)	KGIの中で「合計特殊出生率」と「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」の進捗が「△」となっている。 「合計特殊出生率」については、未婚率の上昇や晩婚化、 「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」については、コロナ禍における行動制限により、将来の夢や目標に繋がる誘因が減少したためと推測している。 合計特殊出生率に作用する施策1の達成度は「達成」となっているが、KPIの①の進捗状況をさらに向上させることで、KGIの目標値に向けた数値改善に繋がりたいと考えている。 児童・生徒の将来の夢や目標に作用する施策2の達成度は「要改善」であり、先行き不透明なコロナ禍においても、ICTを活用することで教養の幅が広がり、KGIの改善に繋がると考えていることから、施策2の②③を注力する必要がある。
今後の対応 (Action)	広島県が実施する不妊検査・一般不妊治療助成や不育症検査助成への上乗せの検討、産前産後サポートをさらに充実させ、妊娠・出産・子育ての各ステージでの切れ目ない支援を実施していく。 ICTを活用した授業を実施している教師の割合が低いため、ICT活用推進研修の実施やICT指導員等への相談体制を充実させるほか、オンラインによる海外との交流を実施していく。

推進会議の意見	
・一般不妊治療等助成の上乗せについて、治療に長い期間を要する人もいる。時限付きではない支援を期待したいが、現時点での上乗せのイメージは。 ・ICTに長けた人材を活用して、ICT全体の普及に取り組まれているか。 ・ICTの活用に関して教員へ指導するよりも、専門家が児童・生徒へ直接指導するほうが効率が良いと考えるがどうか。 ・世界的に見ると、日本は読解力や数的理解力が1位であるが、一方でICTの活用能力は10位と他国に劣っている。児童・生徒に対するICTの支援も必要であるが、大人に対するICTの支援も今後検討していかなければならないと感じている。 ・宮島幼稚園でもオンラインによる他文化との交流をしているか。	

総合戦略 効果検証シート

【資料1-1】

基本目標 (Plan)	4 「そこ！が好き」はつかいち ～はつかいちの心を育む～						
KGI	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
まちに愛着があると答える市民の割合	78.4%	78.6%				80.0%	○

【KGI・KPIの進捗状況凡例】
 ◎: 目標値達成
 ○: 現状値(R1)から改善
 △: 現状値(R1)と同数又は後退

【施策の評価凡例】
 KPIの平均点が
 達成: 4点以上 やや達成: 2点以上4点未満 要改善: 2点未満
 (KPIの進捗状況 ◎: 5点 ○: 3点 △: 1点)

施策体系			施策達成度						
施策1	はつかいち大好きっ子！を育てる	要改善	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	自分の住んでいる地域のことが好きな児童・生徒の割合		(小学校)92.7% (中学校)82.1%	(小学校)90.9% (中学校)78.2%				(小学校)93.0% (中学校)86.0%	(小学校)△ (中学校)△
施策2	安心して暮らせるまちをつくる	やや達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①災害による死亡者数		0人	0人				0人	◎
	②市内の犯罪認知件数(廿日市署管内)		377件	329件				320件以下	○
	③適切に医療機関を利用できるとする市民の割合		41.2%	34.8%				44.0%	△
施策3	住み続けたい！をかなえる	やや達成	現状値(R1)	実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)	目標値(R7)	進捗状況
KPI	①都市拠点(市役所周辺)で必要な誘導施設の充足率		100%	100%				100%	◎
	②支所周辺が地域の中心地としてふさわしいと思う市民の割合		77.7%	66.4%				80.0%	△
	③公共交通で安全、快適、円滑に目的地まで移動できるとする市民の割合		71.9%	69.3%				75.0%	△
	④地域課題を地域主体で課題解決に向けて取組をしていると思う市民の割合		15.8%	15.1%				32.1%	△
	⑤福祉・介護に関するサービスが適正に提供されていると思う市民の割合		36.9% (R2年度)	37.0%				50.0%	○
	⑥市民センターが利用しやすいと思う市民の割合		44.2%	44.1%				50.0%	△

総合分析 (Check)	KGIは現状値から令和3年度実績値は0.2ポイント上昇している。 愛着は年代が上がるにつれて上昇する傾向にあり、「70 歳以上」(79.8%)が最も高く、以下、「50～59 歳」(79.2%)、「60～69 歳」(78.7%)、「30～39 歳」(78.6%)、「40～49 歳」(77.5%)、「18～29 歳」(75.2%)と続く。 要因としては、長くその地域に住めば愛着があるものとして回答しているためではないかと推測しており、「30～39歳」が「60～69歳」と同程度と、この点にデータの特徴を感じている。 これは、児童・生徒が市の歴史や文化に触れる取組みを実施してきた効果の表れではないかと推察している。 また、地域別に見ると「廿日市地域」が80.4%と最も高く、以下、「大野地域」(76.8%)、「宮島地域」(76.2%)、「吉和地域」(75.0%)、「佐伯地域」(73.7%)と続き、「佐伯地域」においては、「公共交通機関」「買い物不便」「空き家・空き地が多い」ところに課題がある。(市民アンケート) まちへの愛着は、シビックプライドの醸成や地域課題を地域主体で解決できる仕組みの構築が必要であり、加えて「佐伯地域」で特に課題となっている公共交通機関の課題解決に向けた取組に注力する必要がある。 以上を踏まえ、施策1と施策3の③④を注力する必要があると考える。
今後の対応 (Action)	児童・生徒であった時代に魅力ある市の歴史や文化の学習をすることが、まちへの愛着が湧き、進学や就職などで転出しても再び地域へ戻ってくることに繋がると考え、オンラインも活用しながら「ふるさと学習」を継続実施していく。また、地域の人との交流を目的とした放課後子ども教室を継続していくため、ボランティア等支援者の維持に努める。 施策3の③については、安全・快適・円滑に公共交通で移動できるよう、AIカメラを導入した利用実態把握に取組み、公共交通のネットワークの再構築・改善に取組む。 施策3の④については、地域のつながりを深めるきっかけ作りや、地域外の人と繋がる活動を継続実施していき、地域自治組織の活動を地区住民に広げていく。

推進会議の意見
・自分の住んでいる地域のことが好きな児童・生徒の割合が減少しているが、目標値達成に向けた今後の取組について教えて欲しい。 ・昨年、佐伯中学校ではコロナの影響で中止となった職場体験の代わりとして、地元の事業者に中学校に来てもらい、生徒と将来に向けた語り合いをする「カタリバ」を実施した。地元を知り、地元が好きになるきっかけとして、今後も取組みを続けていただきたい。 ・今後の対応欄に記載されている「児童・生徒であった時代に歴史・文化の学習をすることがまちへの愛着が湧き、進学や就職などで転出しても再び地域へ戻ってくることに繋がる」について、このことが判断できるデータがあるか。また、歴史や文化に触れるだけでは、今後の定住に直接的には繋がらないのではないか。 ・「地域課題を地域主体で課題解決に向けて取組をしていると思う市民の割合」が、目標値と比較してかなり低いのがなぜか。 ・補助メニューが多くの世代にとって使いやすいものでないと、数値改善に繋がらないのではないかなと思う。